



別府大学 News Letter



Vol. 11-1

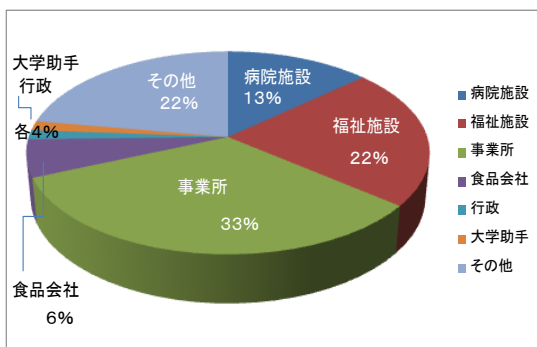
食物栄養科学部

食物栄養学科

お知らせ：平成24年7月16日（月）（海の日）
第2回別府大学オープンキャンパス開催

食物栄養学科卒業後の進路

景気の低迷による就職氷河期で大卒の就職率が伸び悩む中、本年も多くの卒業生が専門知識・技術を生かせる分野に進むことができた（就職率87%、3.27現在）。



主な就職先：浜松市学校栄養職員、国立都城病院、湯布院厚生年金病院、畑病院、杵築中央病院、帆秋病院、大久保病院、向洋クリニック、総合福祉センター借生園、福祉施設かがやき園、年長者の里、老人保健施設健寿荘、老人保健施設美晴が丘、やすらぎケアハウス、地域生活支援センター、富士産業（株）、日清医療食品（株）、（有）エヌ・フード、淀川食品（株）、（株）レオック、（株）ソフトライフ、（株）クリニコ

第26回管理栄養士国家試験

3月18日（日）に管理栄養士国家試験が実施された。卒業生たちは前日13時に別府大学からバスで福岡に移動した。この日は福岡のホテルに一泊し、翌日福岡会場（西南学院大学）で試験に臨んだ。管理栄養士国家試験の受験者数は約2万5千人。合格者発表は5月7日。



4月22日（日）に別府大学食物栄養科学部の創設10周年記念式典が、10時から本学3号館ホールで開催されます。一般の方のご出席も歓迎いたします。基調講演 小泉武夫先生「先人の知恵に学ぶ非常時の食生活」【入場無料】

7期生の皆さん、卒業おめでとう！



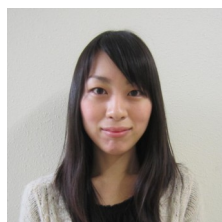
平成24年3月19日（月）、おだやかな春の一日、平成23年度別府大学卒業式が挙行された。第7期生78人が食物栄養学科から巣立った。卒業生全員が栄養士免許を取得し、そのほか多くの者が食品衛生監視員及び食品衛生管理者任用資格、フードスペシャリスト資格を、また教職課程修了者15名が栄養教諭1種免許を取得した。第26回管理栄養士国家試験を前日に終えた卒業生たちは和やかなムードで4年間の大学生活を締めくくる卒業式に臨んだ。

-学びの場から実践の場へ-

卒業式の後、別室にて学科による卒業証書授与式が行われた。一人一人に卒業証書が手渡されたのち、江崎学部長をはじめ、安房田学科長、第7期生担任平川・吉村両准教授から、これから実社会に巣立つ卒業生に祝福と実社会に出てからの心構えなど“はなむけの言葉”が贈られた。大学生活で最後となる話に卒業生たちは真剣な面持ちで聞き入っていた。



卒業生から ~新入生へのメッセージ~



安部翔子さん
(7期生)

大分豊府高校出身
杵築中央病院勤務

私は、別府大学食物栄養学科に入学して本当によかったと思っています。この大学には、同じ目標を持ち、励まし合える友達や愛情溢れる先生方、頼りになる先輩、元気に挨拶してくれる後輩達があります。私は、そんなあたたかな環境の中で、かけがえのない幸せな時間を過ごすことができました。

4年間は長いようであつという間です。この大学でしか経験できないことがたくさんあり、日々成長できると思います。1日1日を大切に、一生の宝物となる思い出をたくさん作ってください。そして「管理栄養士になる」という初心を忘れずに努力をすれば、きっとそれは実現します！みなさんの夢が叶うことを願っています。